

第1回日本ラグビー学会大会

日時：平成20年3月30日（日） 10時～16時

会場：関西大学 第2学舎

特別講演 13:00～14:00

「ワールドカップを振り返って」

演者：大畑 大介（コベルコスティーラーズ）

インタビューア：村上 晃一（ラグビージャーナリスト）

シンポジウム 14:15～15:30

「他競技から学ぶ」ーサッカー競技からー

コーディネータ：小田 伸午（京都大学 教授）

シンポジスト：川端 隆志（大阪市立大学 准教授）

川村 幸治（大阪府立阪南高校 校長）

一般演題発表

10:00 ～ 12:00

参加費：無 料

（一般参加者）

一般演題発表・目次

B-1	ワールドカップ大会の得点の変遷	高津 浩彰	11
B-2	腕振り動作がスプリント・パフォーマンスに及ぼす影響	高田 正義	12
B-3	ラグビーにおけるスクラム力の実践的測定方法について	青石 哲也	13
B-4	ラグビーにおけるスクラム強化のための特異的筋力トレーニング	菅野 昌明	14
B-5	夏季合宿での集中運動負荷が血清 SH 基に及ぼす影響	中上 寧	15
B-6	ラグビーフットボールにおいてマウスガードが果たす役割 —義務化と規格化—	吉田 亨	16
C-1	幼児の体力づくりへの取り組みについて —ラグビー遊びをとおして—	村田トオル	17
C-2	大阪府における ミニラグビー普及に関する課題	高折 和男	18
C-3	生涯スポーツとしてのラグビー	鈴木 道男	19
C-4	生まれ月(月齢)による精神的なスポーツ活動への影響	桑田 大輔	20
C-5	日本聴覚障害者ラグビー連盟 (デフラグビー)の活動について	千葉 英史	21
C-6	デフラグビーに関する基礎調査研究 —東海地区の高等学校を対象に—	寺田 泰人	22
C-7	ニュージーランドのゴルフクロス	森 仁志	23